



最新の赤本が届いています



2階の進路指導室に、2024年度大学入試対策の過去問題（通称赤本）が届いています。以下、赤本の背表紙を引用します。

過去問を初めて解いてみると、難しくて不安に思うかもしれませんが、でも大丈夫。赤本は大学合格のための案内役です。傾向を知り、弱点を分析して、対策を練る。そしてまた過去問を解いてみる。その繰り返しから、合格へのルートが見えてくるはず。

赤本は過去問やその解答だけでなく、科目ごとの傾向やその対策も掲載されています。また、過去問掲載年の志願者数や競争率、その大学に合格した先輩たちの合格体験記や科目別アドバイスも載っており、はじめの50ページほどを読むだけでも「この大学に行って勉強したい！」という気持ちが強くなるはずです。

赤本を解くなら、まさに今がおすすめです。二次の科目数や得点配分にもよりますが、共通テスト前にはその対策をするため、個別試験の問題に取り組む時間が確保しにくくなります。理科・社会の授業範囲の終わりが見え、教科の全貌が明らかになってきた今が、過去問に取り組むベストな時期です。貸出は一日限りですが、有効に活用してください。

進路講演会『卒業生のお話を聞く会』

9/20(水)に、1年生・2年生を対象とした進路講演会を実施しました。北園の先輩である現役大学生の言葉は、自分の未来像を描くヒントになりましたか。今回は、2年生のワークシートにあった言葉をいくつか抜粋し、掲載しておきます。



○勉強は家でするものだと思っていたが、教室か図書館を利用していた人が多かったので、**自分もやってみよう**と思った。科目選択が遅い学校の方が、自分に合っていると思う。

○頑張るときに頑張るって、勉強の質を高めるのが大事だと思った。休むときは休むのも大事だと思った。**勉強時間の可視化**は良さそうだったので、実践してみたい。

○4年間通うことを見すえて大学を選ぶ。小テストを今より高いモチベーションで取り組んでみる。苦手な教科にもできるだけ時間をかけて苦手なところを減らしていく。やりたいことは早く決める。「三年生の途中でガス欠にならないように勉強した方がいい」とアドバイスしていた先輩がいたので、二年生のうちに勉強を思いきりやってみたいと思いました。

○塾なしでも大学受験はできる！ということが身に染みて感じられた。自分がいちばん集中できる環境をいち早く見つけられるように毎日コツコツ勉強する力を継続できるようにしたい。自分がやりたい！と思ったことに自信を持って勉強をがんばろうと思った。

○勉強を一緒に頑張れる友達を見つける。一緒に頑張る、というのは大事だなと思った。推薦については考えたことはなかったけれど、もし受けるとなったらもっと計画的にしなければいけないということを知った。ほとんどの先輩が共通して言う「学校のテストをちゃんと勉強する」は、私も継続させようと思った。

○受験生になったらほぼ全員が塾に行くのだと思っていたので、図書館と先生を活用して第一志望に受かった体験を聞いてモチベーションが上がった。自分の学力に合った大学でいいや、と思っていたので、**自分が学びたいこと、4年間でやりたいことは何か考えるきっかけ**になった。入学してから転学部できる大学があることを初めて知ったので、視野が広がった。

○自分の身近な定期テストなどからしっかり取り組んでコツコツ学力を上げたいと思った。**やる気がくるのを待つのではなく自分でやる気を起こしたい。**

○志望校、学部、学科は、仮でも早く決めれば決めるほど良い。色々な選択の責任は、塾を選んでも、何を選んでも自分。自分を知り、自分について考えることが大切という言葉がひびいた。勉強頑張ろうと改めて思った。

○自分の大学選択についてたくさん迷っていたので、大学の決め方はとても参考になったのでよかった。毎日自分で小テストや単語テストをしていて、実力を試すことができるといいなと思った。また、卒業生の話聞いていて、先生達がアドバイスしている通りだと感じた。

○仮にでも早めに大学を決めていくことがいいという言葉がいいなと思った。私はそれが最終目標の大学でなければいけないと思って、今まで思いとどまっていたけれど、ひとまずの目標でがんばろうと思う。そしてやはり勉強のやる気はいつくものではないとのことだったので、今日から自分なりの方法で取り組みたい。あと、塾にいてない人もいたので驚いた。

○何を勉強するかとしっかりと決めておいて、勉強した科目に印をつけてしっかり目にみえるようにしておく。**国立を視野に入れると選択肢が増える。**

○私も、親に負担をかけたくないから国公立大学に行こうと思っていたけれど、この選び方でいいのか迷っていたから、同じ考えで国立を選んだ先輩がいて安心しました。仲間をつくるのと、ある程度息抜きができる友達をつくるのをみなさんが言っていたので、重要なことなんだなと思いました。勉強と息抜きをちょうどいいバランスでできたらいいなと思います。

○1年時の進路講演会と比べてみると、内容が現実味を帯びてきていると感じました。今、現段階では自分は第一志望校を決めていますが、やはり卒業生の話きくと、能動的に動いて自分で道を切り拓いていくことが受験合格のカギかなと思いました。自分の価値観でやりたい勉強を選択していくことが大切だと思います。

○親の出身地の地方国公立を選び一人暮らしをしている先輩の話が参考になった。浪人はできるか、国公立か私立かのどちらに行くのかなど、自分だけでは決められない話を、今からしっかり親と話すことが大切だなと思った。看護系の話では、所属病院の雰囲気は想像と違い、とても厳しいというわけではなくて良かった。苦手教科に配分する時間をもっと増やしていきたい。